

【NEWS RELEASE】

2020年7月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

新明和工業株式会社に「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、新明和工業株式会社（代表取締役社長：五十川 龍之）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、新明和工業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

廃棄物処理インフラを効率化する特装車や環境機器システムの提供

目標 7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	ターゲット 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	ターゲット 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標 12 つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

下水や雨水の処理・排水の効率化に貢献する水中ポンプ等の開発

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	ターゲット 3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
目標 6 安全な水とトイレ をみんなに	ターゲット 6.2 2030年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	ターゲット 13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDGs推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



積込能力、メンテナンス性、安全性を追求した新型回転板式塵芥車「G-RX」



2,800トン/日の処理量を誇る
上海徐浦ごみ中継施設(中国)



品質(通過性能)と効率の両面を兼ね備えた設備用水中ポンプ

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。